

令和5年4月26日
国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所

ダム水力発電のクリーンなエネルギーで警報車が走ります

～脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて～

湯西川ダムのパトロールする警報車に、関東地方整備局で初めてプラグインハイブリッド車を採用しました。この警報車は、湯西川ダムの水力発電で生み出される電気を活用して走行することにより、脱炭素社会の実現を目指します。

湯西川ダムは、2012年（平成24年）に鬼怒川水系の湯西川に完成した高さ119mの重力式コンクリートダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持、農業用水、都市用水の供給を目的としており、維持放流を利用して水力発電を行っています。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ 宇都宮市役所記者クラブ
日光記者クラブ

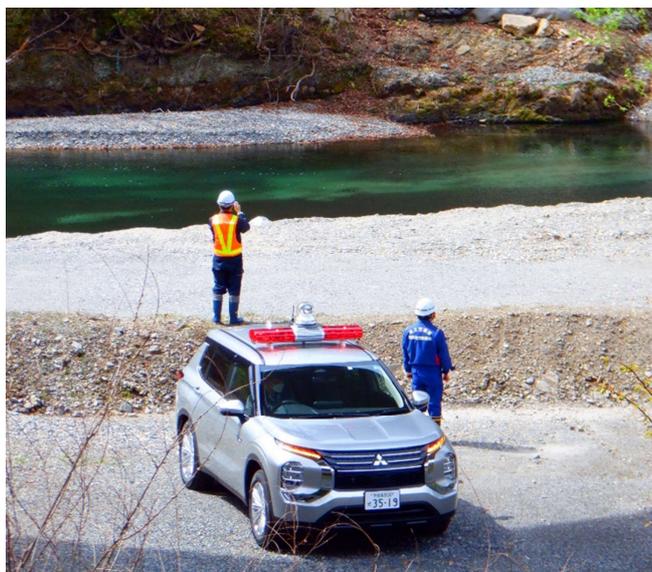
<問い合わせ先>

関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

電話：028-661-1341（代表） FAX：028-660-2344

副所長 舘野 悟（たての さとる）（内線：204）

管理課長 伏見 一徳（ふしみ かずのり）（内線：331）



湯西川ダム

型式	重力式コンクリートダム
堤高	119m
堤頂長	320m
堤体積	1,060,000m ³
所在地	栃木県日光市西川416

水力発電諸元

最大出力	350kW
水車型式	フランスス水車

警報車諸元

定員	5人
駆動方式	プラグインハイブリッド